



平成22年7月26日

各 位

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス
 代表者 代表取締役社長 片山 利雄
 (コード番号 8248)
 問合せ先責任者 執行役員財務本部長 石畑 成人
 (TEL 075-682-2010)

第2四半期連結累計期間業績予想の差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年2月5日の平成21年12月期決算発表時に開示した平成22年12月期第2四半期連結累計期間(平成21年12月21日～平成22年6月20日)の業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年12月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年12月21日～平成22年6月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,000	600	900	700	13.78
今回発表予想(B)	68,172	1,279	1,627	1,494	29.42
増減額(B-A)	△2,828	679	727	794	
増減率(%)	△4.0	113.3	80.8	113.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)	73,202	537	811	△133	△2.63

修正の理由

当社グループの主力事業である通販事業の株式会社ニッセンにおきまして、インターネット経由の売上が順調に推移したものの、夏号カタログ配布時の天候不順による受注の伸び悩みの影響等により、売上高が前回発表予想時の第2四半期の見込み(以下、「前回見込み」)を下回りました。一方で、カタログ関連コスト、フルフィルメント費の圧縮等による販売費及び一般管理費の削減策を実施した結果、営業利益、経常利益は前回見込みを上回る結果となりました。

以上の状況により、第2四半期累計期間の連結業績数値につきまして、前回発表予想より売上高は2,828百万円の減少となった一方、営業利益は679百万円の増加、経常利益は727百万円の増加、四半期純利益は794百万円の増加となりました。

なお、景気は緩やかに持ち直し、最悪期は脱しつつあるものの、消費環境が低迷しており予断を許さない状況にあるため、通期予想に関しては前回発表予想に変更はございません。

(注)上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については当社及び当社グループをとりまく様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

以上